

# “キラリ企業”の現場から

第

115

回

## 顧客満足のために、社員満足を追求する

### 株式会社ダイテックス

#### 製造業から分社した機械設計の会社

株式会社ダイテックス(以下同社)の社はJR蒲田駅から徒歩5分のオフィスビルの2階にあり、他に大阪(大阪府中央区)、小松(石川県小松市)、富山(富山県富山市)、豊田(愛知県豊田市)、小山(栃木県小山市)に拠点を設置している。

昭和24年に創業者である阿部五郎氏が自動車部品を製造する大進工機株式会社を創業。次いで機械設計・製図請負業務を担う大進工業株式会社を設立した。その後、製造を担う大進工機は閉じたものの、大進工業を2代目である阿部<sup>あきら</sup>顯氏が継ぎ、株式会社ダイテックスに社名変更。現在は3代目となる阿部博志氏が代表取締役として経営を行っている。

同社は各種機械ならびに関連機器の設計・製図・モデリング・解析およびCAD教育、機械設計・製図に関わる労働派遣業務を行っている。特に自動車部品の設計・製図に強みを持ち、顧客先の工場に合わせ全国に拠点を置いているのが特徴である。また、派遣会社に登録する形の登録型派遣ではなく、正社員として直接雇用した上で企業へ派遣している。

2代目社長である顯氏は公社城南支社が運営を支援している「経営者交流会」に設立初期から参加していた。この交流会では経営戦略や人事に対する考え方、製造業に関する情報など様々な分野のテーマについて、外部講師や参加者である経営者に講義をしていただき、意見交換が行われている。古参メンバーである顯氏には積極的な発言をいただくとともに、交流会の運営にも長年にわたりお力添えをいただいている。



東京本社外観

#### 労働者派遣法の改正の影響

平成27年9月に施行された労働者派遣法の改正により、派遣業界は大きく揺れ動いている。これまでは特定業種においては派遣期間が無制限とされていたが、この改正により業種に関係なく非正規雇用者の派遣期間は最長3年に制限されることになった。

この法改正については解釈の分かれる点もあり、同社のように正社員雇用して派遣している場合は期間の定めはないが、派遣先の企業自体がより厳しい受け入れ基準を設定する場合もある。また届出制から許可制になり事業所ごとの資産要件を求められるなど、事業者に対する資格要件も厳格化された。派遣会社は経営者一人でも成り立つ事業であったため、同業者は星の数ほど存在していたが、この法改正を機に事業者間の競争が激化し淘汰も進むとみられている。資産要件のハードルが高くなり廃業する業者も出てくるが、それがクリアできていればM&Aによりノウハウのない業界にも進出することも容易であるからだ。

同社は今回の法改正を事業拡大の機会と捉えており、より広い分野に飛び込める状況になったと考えている。将来的には今の主力事業である設計・製図の派遣事業と同規模の別事業を持つのが同社の目標だ。

#### 充実した新入社員研修

派遣業は派遣会社と派遣社員の関わりが少なく、顧客企業へ常駐するという業務の性質上、他社との差別化が難しい業種である。常用型派遣の場合、雇用した社



実際に手を動かす社員研修

公社のさまざまな支援サービスをご利用いただいている元気企業を紹介する“キラリ企業”の現場から。第115回は機械設計、製図およびそれらに特化した人材派遣を行う株式会社ダイテックス(大田区)をご紹介します。同社には経営者交流会(注※)など、様々な公社事業をご利用いただいています。



株式会社  
ダイテックス  
代表取締役  
阿部 博志 氏

代表者 / 阿部 博志  
資本金 / 2,500万円 従業員 / 248名  
所在地 / 東京都大田区蒲田5-44-5  
ユニゾ蒲田五丁目ビル2F  
TEL / 03-5703-0345 FAX / 03-5703-0347  
URL / <http://www.daitex.co.jp/>

員に対する教育の内容や期間で違いが出てくる。1週間程度の研修後に派遣し、満足に働けず数か月で辞める社員が多い会社もある。そのような状況を踏まえ同社は新入社員への教育体制に力を入れており、4か月にわたり設計・製図の基礎、3DCADの操作などを教えてきた。

今年からはより研修カリキュラムを充実させるべく、実際にエンジンをばらしてCADデータを作成し再び組み立てる、という内容のものづくり実習を加え6か月とする予定である。

この研修を通じて、働く楽しさやものづくりの面白さを知ってもらい、働き始めてからのキャリアを新人社員に考えてほしい。それが本人の成長にもつながると考えて、気持ちに火をつけるための期間にすべく研修を充実させている。

### 社員満足を最重要視

顧客を満足させるなら、それなりの仕事を安く受ければ良い。しかしそれでは売上は落ち、社員にしわ寄せが行き消耗戦になる、というのが博志氏の考えだ。

派遣でサービスを提供している会社の商品は社員である。社員が満足しなければ顧客先で明るく働けず、良い仕事ができない。ならば社員満足を最重要視する、というのが同社の考えだ。派遣社員は正社員と比べて肩身の狭い思いをする。だが正社員と同等の知識、経験あるいは賃金があれば劣等感を感じないで済むかもしれない。その考えに基づき、大手メーカーの正社員と同等の賞与が出せるようにすることを現在の目標として掲げている。

また、福利厚生の一環として社員旅行を行っており200人



社員旅行の様子

超の社員が参加している。派遣会社の社員はほとんど派遣先の会社に常駐するため、派遣元の会社との関係は希薄になりがちである。そこで同社への帰属意識を高めってもらうためにも積極的に会社行事を行い、宴席で行う催し物を部署や地域を越えた社員グループに企画させるなど、社員同士のつながりを強める工夫もしている。

最近では派遣社員にも改善の意見を求める顧客企業が増えてきており、積極的な態度が求められている。そのような状況をふまえて、遊びの場を提供しつつ、その中でチームワークを学びコミュニケーション能力を伸ばしてもらうことを同社は期待している。

### さまざまな技術に関われる面白み

機械設計業の面白いところは、製造には関われないがその過程のあらゆる技術に関与できる点であると博志氏は語る。メーカーが新しいことをするには設備投資や生産ラインを用意するなど難しい話になるが、同社はパソコンの中で作業を進めていくため、あらゆるものに関与できる可能性がある。

博志氏の昔の夢は自動車の仕事にかかわることだった。それが叶った今、今度は海や空、宇宙などもっと広い技術に関わりたい。これは技術系の派遣会社だからこそできることだ。あらゆる技術と繋がる可能性を説く博志氏の目は希望に満ちている。

派遣業界には今、変化の波が押し寄せている。そのような中で同社が、社員も顧客も喜ぶ派遣業界の新たな道しるべとなることを期待したい。

(城南支社 盛澤陽一郎)

(注※) 経営者交流会…  
中小企業者の相互交流の機会を提供し、経営情報の交換等を目的として東京都中小企業振興公社城南支社が運営を支援している。毎月1回、開催されており、経営者の報告や工場、研究施設、展示会等の見学や外部講師を招いて、情報交換等を行っている。新規会員は随時募集。問い合わせは城南支社 (TEL:03-3733-6284) まで。